

主催者代表挨拶

特別ゲスト挨拶

ホスチャイルド国連戦略調整担当事務次長補

文部科学省の代表の方、また外務省の代表の方、そして広島大学の代表の方、および筑波大学の代表の方、皆さま、おはようございます。このような大変素晴らしいフォーラムを開いていただき、ありがとうございます。この度ゲストとして日本政府に招聘されたことを大変ありがたく思っております。

私は、グローバルな教育面でのこれまでの進展と今後乗り越えなければならない課題について述べたいと思います。2000年から2015年の15年間、学校に行っていない子どもたちの人数は、3億7400万人だったものが2億6400万人まで下がりました。2002年以降、初等教育を修了する女児の数は、男児を100とすると、83から94まで上がり、かなり前進しましたが、まだまだやるべきことがあります。SDG4の「質の高い教育をみんなに」という目的を達成するには、まだ深刻な課題が残っています。

まだ2億6000万人余りの子どもたちが学校に行けておらず、その多くが女子で、実際に世界の非識字者の3分の2は女性です。6100万人以上の未就学の初等教育年齢の子どもたちの半分以上が、サハラ以南のアフリカに住んでいます。

ここで、五つの課題を順に説明したいと思います。

第一に資金ギャップを埋める必要があります。資金援助全体に占める教育資金の割合はこの6年間で低下しており、2009年には全体の10%でしたが2015年には6.9%になりました。確かに緊急な危機への対応のために資金が必要だったということは理解できますが、必要とされる資金の規模を満たすためには、2015年に160億ドルだった教育資金を、2030年には890億ドルまで増額しなければいけません。また資金の出し手を増やし、多様化する、つまりパートナーを増やすことが必要です。ODAではない新しいアプローチが必要です。

G20サミットにおいて、国連事務総長のイノベティブな教育のための国際金融ファシリティ（IFFEd）の創設という提案は歓迎されました。このファシリティーは2018年11月のアルゼンチンでのG20サミットで発足予定です。このファシリティーが注力するのは特に低中所得国で、国際開発金融機関にてこ入れし、新しい追加資金をもたらそうとしています。また最近ダカールで開催された教育のためのグローバルパートナーシップ増資会合は、政治的なコミットメントを目に見える支援にする重要な機会でした。日本の大変寛大なプレッジに感謝いたします。私たちは日本が支援をさらに増やしていただけることを希望しています。

第二に、女児の教育に焦点を当てなければなりません。中等教育を1年長く受けると、その分その後に25%も多くのお金を儲ける力が付きます。しかし悲劇的なことに、低所得国の農村地域に住む少女はわずか1%しか中等教育に進むことができていません。女子は、

ジェンダーに基づいた暴力や学校に女子用トイレがないなどといった様々な障壁に直面しています。社会的・文化的な規範によって、女の子たちが学校に行けないということも地域によってあります。この問題を克服するには、資金だけでなく、強力な政治的な支援も必要です。

第三に、生涯学習を強調しなければなりません。今、必要とされる労働力の質が変わってきています。2017年後半にマッキンゼイ・グローバル・インスティテュートという研究所がまとめた報告書では、2030年までには、今日の雇用全体の4億から8億人分が自動化されるということです。人工知能やその他の技術によって、労働市場は大変大きな影響を受け、社会そのものも変わります。技術的・社会的な変化によってチャンスも生まれてきます。しかしそれに応じた異なるスキルが労働力側にも必要になります。教育について語る際には、このような大きな変化に対応するために、新しいスキルを身に付けなければならないということを確認しなければなりません。

第四に、紛争の影響を受けた子どもや若者に焦点を当てる必要があります。教育と平和の間には強い相関関係があることから、これはとても重要な投資です。中等教育就学率が平均より10%高い国では、戦争が起こる確率が3%も低いといわれています。

五つ目の課題は紛争地域に住む子どもたちへの教育です。特にアフリカや中東では紛争が広がっており、過去5年間で緊急時下の教育への資金要請が21%高まっています。3歳から18歳の7500万人の子どもたちが紛争国に住んでおり、教育への支援を必要としています。2016年に、緊急時下の教育への支援は、人道支援の2.7%しかありませんでした。それは4%という目標をかなり下回っています。

結論として、教育に対する投資、特に女子教育に対する投資は、教育にとどまる問題ではありません。平和で公正な社会を創造すること、すなわちSDG16につながっています。それから、ジェンダー平等を実現しようとするSDG5と人や国の不平等をなくしようというSDG10にも関わっています。貧困をなくしようというSDG1、そして働きがいというSDG8にも関わっています。教育に対してお金を投じることは、より良い世界、より良い未来のために最も良い投資だと思っております。教育は、全ての開発の側面だけでなく平和と安全保障に直接相関関係があります。教育への投資は正しいというだけでなく、一番賢い投資、一番手堅い投資です。ありがとうございました。